

沼津西ロータリークラブ週報



ロータリーの未来はあなたの手の中に

2009～2010年度
第19巻22号
2009年12月3日

●クラブテーマ● ロータリーで仲良く

■■ 本日のプログラム ■■
外部卓話 沼津税務署長 秋山泰男様

例会場：ブケ東海 (12:30点鐘) 例会日：毎週木曜日
第三木曜日：18:30

事務局●TEL&FAX 055-967-2152
事務担当者●川口恵美
Eメール●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第880例会 会長挨拶◆◆

井上 武雄 会長

今日は、年の瀬の大変お忙しい所を、思いもかけず、沼津税務署長秋山泰男様、渡辺佳和様、法人会より一杉崇様、お越し下さいまして、ありがとうございます。後程、卓話にて、お話を伺えることを、楽しみにしています。どうぞ、宜しくお願いします。

早いもので、もう本年も師走に入りました。皆様のご協力を頂きまして、半年が過ぎようとしています。これからよろしくお祈りします。この頃、朝晩はすっかり寒くなりました。しかし、日々によっては温暖の差が激しく、四季とは別に異常な天気が続いています。又、今年は、テレビ新聞等でも報道され、大きく取り上げられていますが、新型インフルエンザの流行も心配されます。気温の上昇と乾燥の関係上、随分早くから増加しています。10月頃よりどんどん増加して、沼津市内、近隣駿東地区においても、小・中学校で学級閉鎖や学年閉鎖が続き、自宅待機の生徒が多く年間の単位が不足し補習をしなければならないかもしれない、ということです。

12月に入ってからは、駿東、沼津地区を含めだいぶ閉塞してきた様で、学級閉鎖も徐々に解除され、平常化してきた様です。うがい、手洗いの徹底等が平常化されていくにあたり大きい役割を担っているとの事です。風邪等には充分気を付けて、健康管理をしっかりして、本年度にやり残した業務をしっかり片付けていこうと思っていますので、宜しくお願いします。

クラブ管理運営委員会報告

●ゲスト

- 沼津税務署長：秋山泰男様
- 沼津税務署 法人課税第一部門：渡辺佳和様
- 一杉 崇様：法人会副会長

●ビジター

- 鈴木一郎様：沼津 RC

★出席報告 (会員総数 23 名)

例会	会員数	出席数	MU	出席率
880回	23名	19名	-	82.61%
878回	23名	17名	2名	82.61%

●欠席者(4名)

本村文一、大村保二、杉山 了、土佐通孝

●他クラブへの出席者

成田みちよ (11/27 せせらぎ三島RC)

●スマイル報告

- 一杉 崇様：本日、税務署長さんの卓話、宜しくお願い致します。源泉、確定申告、決算は、e-Tax (イー タックス) でお祈りします。
- 井上武雄：沼津税務署長秋山泰男様、渡辺佳和様、本日は、宜しくお願いします。
- 杉山壽章：秋山様、本日の卓話宜しくお願いします。
- 鈴木良則：沼津法人会、一杉副会長、この度は、お世話になりました。ありがとうございます。
- 尾島康夫：ゴルフコンペ、優勝しました。ありがとうございました。

12月のプログラム

881回12月10日(木) 12:30 ブケ東海
クラブ協議会 下期活動計画 理事会

882回12月18日(金) 16:30 ブケ東海
クリスマス例会 曜日変更

883回12月24日(木) 12:30 ブケ東海
沼津市長 栗原裕康様 友人同伴例会

12月31日(木) 裁量休会

会 長	井上武雄	幹 事	杉山壽章
広報委員長	植松 正	編 集 者	本村文一

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

- ①御殿場ロータリークラブ
12月17日(木) クリスマス家族会
12月31日(木) 特別休会

2. 報告・連絡事項

- ①インターアクト指導者講習会が12月13日(日) AM10:15よりぬまづ健康福祉プラザサンウェル沼津で開催されますので連絡します。
- ②1月9日の例会は(新年会)PM6:30よりはなぶさで行ないますのでよろしくお願いします。

年次総会

クラブ細則第3条第3節3項により、11月例会において、指名委員が指名した次年度理事並びに、次々年度、会長候補者に対し、同節4項より、本日の12月第1例会までに、被指名候補者以外の立候補者がありませんでしたので、これをもって被指名候補者の当選が確定した事を宣言します。

次々年度会長：宮島賢次

次年度理事：井上武雄、鈴木泰次、久松 但、
重光 純、栗原侑男、宮島賢次、
本村文一

以上です。宜しくお願いします。

外部卓話



沼津税務署長 秋山泰男様

○はじめに

ただいまご紹介をいただきました沼津税務署の秋山でございます。

沼津西ロータリークラブの会員の皆様には、日頃から、税務行政に対しましてご理解・ご協力を賜っております。この場をお借りしまして厚くお礼を申し上げます。

また、本日は、例会におきまして、お話をする機会をいただき重ねてお礼を申し上げます。

今回の卓話については、(株)静香園の一杉社長からお話をいただいた訳ですが、沼津の財界を代表する皆様の前で拙い話をするのは大変おこがましいと思ったのですが、一杉さんには、社団法人沼津法人会の副会長として大変ご協力をいただいております。また、家内が結婚前にロータクトで活動していたご縁もあり、恥をかくのを承知でお受けした次第です。

演題については、特にお話がなかったことから、役職上、本来ですと「税務行政の現状と課題」と称してお話をさせていただくことが筋だと思っておりますが、食事を済ませリラックスをした状態の中であまり堅い話をするのもいかなものかなと思ひまして、色々と考えた訳ですが、皆さんが余り聞いたことが無いような話のほうが、自分自身気楽に話せるのかなという不遜な気持ちから、「神様」を題材にお話を進めさせていただきます。

○日本の神様

神様といえば、誰しも神社を思い浮かべるのではないかと思います。「神社は神様のいるところ」という感覚は、日本人の生活の中にごく自然に溶け込んでおり、神社の森や鳥居をみれば、そこに神様の存在を意識されるのではないかと思います。

神様を祀る神社は、その土地の名所旧跡、観光名所にもなっているものと、目立たないような森の一隅に祀られているものと様々ですが、神社は、単に宗教施設というに留まらず、地域の歴史、文化、生活や精神史の凝縮された場所です。その意味では、一種のマジックボックスのような空間であるとも言われています。皆様もご存知のように日本には八百万の神と呼ばれるように沢山の神様がいて、それぞれに違った個性や機能をもっています。これが、日本の神様の大きな特徴であり、先ほども申し上げたように、日本の歴史・文化、日本人の精神史といったものが詰まっております。何より現実的な問題としては、神様の個性や機能によって発揮される霊験、言い換えればご利益が変わってくるということです。

では、日本には、神社がどれだけあるのかといいますと、現在、日本全国にある神社は、8万とも10万とも言われています。これは、政府の神社台帳に登録されない神社が数多くあること、また、個人や企業の祀る神社など、どこまでを独立した神社として数えるのかという難しさから、かなり数に幅がでているということです。

神社の数に関する古い記録としては、平安初期の「延喜式」神明帳があり、そこには2,861社が登録されており、これはいわば中央の公認した神社、官幣社と称されるもので、実際には、この5倍の数があったと想定されています。

さらに、明治39年の調査では、約193千社、その後、神社の統廃合が進められて昭和20年の終戦時には106,137社を数え、市町村合併等の社会の変化に伴って多少減少しつつ今日に至っているとのことです。

私は、休日には、出来るだけ時間を調整して、JRの主催するさわやかウォーキングに家内とともに参加をしている訳ですが、その道々に神社があり、神社の前には、村社○神社とか郷社○神社という石碑が立っている社があります。これは、中央政府の評価にもとづく重要度別ランキング、すなわち格付けによるものでして、これまで、神社の格付けは、歴史的には二度行われていると言われております。最初が、先ほどお話をしました平安初期の「延喜式」の神明帳に登録された神社で「式内社」と称される神社で、こうした神社には、その地に赴任する国司が必ず奉幣したと言われております。

もう一つは、明治四年以降の神社規則にもとづく格付けで、まず、官社と民社に大別されました。官社は、官幣大・中・小社と国幣大・中・小社と別格官幣社(靖国神社に代表される国家的な功労者を祀る神社)という形で分類・格付けされました。また、民社に分類されたのは、各地方で強い崇拝を受ける神社で、こちらは府・県・郷・村・無格社という格付けがされた訳ですが、この格付けは、庶民の信仰の度合いに必ずしも比例するものではないことをご理解いただき、これから、観光等で神社等を回る際の参考にしていただければと思っております。

このような話をしていくと時間がいくらあっても足りなくなりますので、この近辺の有名な神社の祭神についてお

話を進めさせていただきます。

○恵比寿講

実は、先月の中旬頃、三島大社の近くに立ち寄った際に、「恵比寿講」の看板と三島大社への案内版があり、恵比寿神社が摂社として祭られているのかなと思いました。

昔の話をして恐縮ですが、私の幼少の頃と言うほどの育ちの良さはありませんが、11月20日は、「恵比寿講」として、各家庭では、大根やタイの落雁・みかんや柿を恵比寿様に具えてお祝いもしましたし、行きつけの駄菓子屋では、毎年、抽選券を配っており、夕方の5時過ぎからお菓子やおもちの袋をもらうのを楽しみにしていました。このごろは、そんな風情も無く寂しい限りですが、西ロータリークラブの会員の皆様は、法人若しくは個人事業を主宰しておられる方々ばかりですので、商業の神様である恵比寿様とは無縁ではないと思いますので、皮切りに、恵比寿様についてお話をさせていただき、次に、三島大社・浅間様、時間があれば、私の街の氏神様であり、一番興味を持っている神様についてお話をさせていただきます。

恵比寿様、またの名を西宮大神とも称されていますが、この祭神は、蛭子命です。

蛭子命は、国生み神話としてご存知のように、伊邪那岐命と伊邪那美命の結婚によって最初の子として生まれたわけですが、体が不自由であったことから、葦の船に乗せて海に流し捨てられたと「古事記」に書かれています。捨てられた蛭子命のその後の運命は古事記では語られていませんが、実は、そうではなかったのだということが、蛭子命を祭神とする恵比寿信仰の本拠地・西宮神社の伝説です。その伝説によれば、海に流された蛭子命は、海を漂った後、摂津の国西の浦（現在の兵庫県西宮）の海岸に漂着し、土地の人々は、拾った蛭子命を大事に養い育て、夷三郎殿と呼び、その後、夷三郎大明神、戎の大神として祀るようになったと言われています。こうして、蛭子命は、恵比寿神へとイメージチェンジして、海の神として信仰されるようになり、豊漁や航海の安全、交易の守護神としてその靈験を発揮するようになったと言われています。

島国の日本では、古来、神々は海の彼方から岸边にやって来たわけですが、そのような神を一般には来訪神と言い、そうした神を「恵比寿」と呼んで、人々は、その来訪神を、豊かさや幸福をもたらす尊い守護神と考え、この地に定住して守護し続けてもらうために大事に祀る様になったということです。

西宮神社の蛭子命は、民俗的な恵比寿信仰と結びつくことによって、恵比寿神の顔を持って広まり、一般には「えべっさん」として親しまれています。七福神のなかでも特に「恵比寿・大黒」と並び称されているように、恵比寿神は、日本の福神の代表格であり、商売を繁盛させて富と幸福をもたらすと信じられている神様なのですが、先ほどもお話をしましたとおり、もともとは、漁業の守護神であった訳ですが、福神の性格を備えるようになったのは、商業の発達する室町時代のことで、物や人が集まる市場が形成されると、そこには神霊が宿ることになります。そもそも海の幸を司る蛭子命もそうした市場の守護神の仲間に加わり、次第に商都大阪の商人たちの間で商売繁盛の神として崇敬されるようになったといわれています。

では、どうして西宮神社の恵比寿信仰が全国に広まったのかと言いますと、西宮神社に所属していた百太夫という

者を始祖とする偲備子の集団が、芝居や演芸の一座と同じように全国各地を巡り歩き、出し物として恵比寿神の神徳や縁起をテーマにした「恵比寿昇き」、「恵比寿回し」と呼ばれる演芸を見せて、人々を楽しませ、恵比寿神の神徳を大いに宣伝した結果、農村では農業守護の福神となり、今日のような庶民的な信仰が全国に広がったと言われてい

ます。蛭子命を祀る神社は、祭神に大国主命の長子で、国譲り神話に登場してきます事代主命と一緒に祀るところも多くあります。

○三島社系

続きまして、当地に一番近い有名な神社といえますと三島大社があげられますが、祭神は、大山祇神で、大山祇神は、日本の山の神の総元締めとして知られる神で、愛媛県大三島町の大山祇神社を本拠地に、その信仰は全国に広がっており、全国の三島神社（三島大社も含まれますが）は、この大山祇神社の神霊を勧請したものとされていますが、そうではなく、大山祇神社が、三島大社から分霊を招いたとするなどの諸説があります。

大山祇神を祭神とする三島社系の神社は、一万余を数えられると言われています。

山の神という真っ先に思い出すのが奥様ということになるかと思いますが、電子辞書で調べて見ましたら、①山を守り支配する神、②俗称として、妻、女房、かかあと出ていましたが、この俗称の語源がどこから来ているのかわかりませんが、多分、山の神は女性という民間の俗信と奥さんは、男性にとっては崇拜すべき立場にいるからかなと思っております。

話を元に戻して、山の神は、その山の周辺の地域に暮らす人々の祖霊であり、農民から見れば、春に里に降りて田の神となる穀霊であり、山の民にとっては、炭焼き、鉱山や鍛冶の神様であり、結局は、漠然としたその全体を山の神と称しているのではないかと思います。また、俗称で女性を指すとお話をしましたが、大山祇神は、立派な男性神であり、娘には、浅間さまのところで登場する木花咲耶姫命とイワナガヒメの命という、美女と醜女を代表する姉妹の神がいて、どこか親父としてのイメージをも併せ持つ神様です。

一方、大山祇神は、別名、ワタシの大神といい、海の神としての性格を併せ持っているとも言われています。

歴史上、大山祇神が、全国にその靈威をとどろかせたのは、海の神としての顔で、先ほどもお話をしましたが、大山祇神を祀る神社の本拠地は、愛媛県大三島町にあり、大三島は、瀬戸内海の芸予諸島の中心をなす島で、そのあたりの芸予海峡は、古くから西日本と近畿を結ぶ水運交通の要衝であったことから、海の神としての崇敬が篤く、瀬戸内水軍の守護神として、また武門の守護神として崇敬をされ、戦国から近世にかけての大三島神社の信仰は、海上交易の守護や武神・軍神としての性格が強く、源頼朝や義経が奉納されたと伝わる鎧や太刀などの国宝を始め重要文化財等が、宝物館に納められておりますので、機会があれば是非ご覧になっていただければと思います。

また、大山祇神は、娘の木花咲耶姫命が、天孫瓊瓊杵尊と結婚し、彦火火出見命（山幸彦といった方がお分かりになる方も多いのかなと思いますが）を生んだとき、大いに喜んでよく実った米でアメノタムケ酒を天地の神に振舞い、こ

の故事が酒造の初めと伝えられ、のちに酒造(酒造り)の祖神として信仰されるようになったとも言われています。

三島大社の祭神は、当初は、大山祇神とされていた訳ですが、明治6年に事代主神(この神を先ほどお話をした恵比寿神として祀る神社も多い)に改め、昭和27年から大山祇神と事代主神の二神を主祭神とし、「三島大明神」と総称しています。このため、先ほどお話をしました恵比寿講の案内板があるのも不思議ではなかった訳です。

三島大社は、伊豆国一宮であり、官幣大社(参考までに、大山祇神社は、国幣大社・日本総鎮守の社格を持っています。)で、源頼朝が伊豆流刑時代から当社を崇敬し、鎌倉幕府成立後は、伊豆山・箱根神社とともに当社を重んじたといわれ、その後は、武家や庶民の信仰を集め、現在に至っています。なお、青森県の岩木山神社の祭神も大山祇神とされています。

○浅間さま

続きまして、富士山の神霊であります木花咲耶姫命ですが、先ほどお話をさせていただきました大山祇神の娘とされ、日本の木の花を代表する櫻の美しさを象徴しているといわれています。古来、日本人は「花が美しく咲く」という自然現象に、社会の発展や物事の繁栄を象徴する姿を映してきたと言われてきましたが、一方、桜の花は満開になればやがて散るように、この神は美しさと同時に、花の命のはかなさも象徴しており、そこから人間の寿命の限りあることを表す女神ともされているといわれています。

「古事記」によれば、高天原から降臨した天孫瓊瓊杵尊が、笠沙の御前で木花咲耶姫命を見初めて結婚を申し込んだときに、父親である大山祇神は非常に喜び、姉のイワナガヒメの命と一緒に献上した訳ですが、姉のイワナガヒメの命は、山の岩石の霊の化身で醜い娘だったために嫌われて返されてしまいました。

父神である大山祇神は失望し、娘二人と一緒に差し上げたのは、姉であるイワナガヒメの命は、天神の子の命が、雪が降り風が吹いても石のごとく永久であることを願い、妹である木花咲耶姫命は、木の花が咲き満ちるがごとくに栄えるようにと、占って決めたからで、姉が返されたことで天神の子の寿命は、「木の花が散るように儂くなるでしょう」と嘆いたとされています。

この話は、いわゆる天皇短命説話として知られているもので、その原型は、人間の寿命が有限であることを表す死の起源神話だと考えられています。

木花咲耶姫命と富士山の結びつきは明らかではありませんが、本来の山の神の性格と火を吹く富士山を神聖な山として崇める古くからの信仰が結びついたものと考えられています。また、神話にも描かれているように、天孫瓊瓊杵尊と結婚した木花咲耶姫命は、一夜で妊娠し、瓊瓊杵尊から「一夜で身ごもるのはおかしい、自分の子ではないだろう」と疑われ、それに憤慨した木花咲耶姫命は、産屋に籠り、自ら火をつけて、燃え盛る炎の中で三人の子供を無事出産しました。この時に生まれた子が、海幸彦と呼ばれる火照命と山幸彦と呼ばれる彦火火出見命と言われ、余談ですが、彦火火出見命の孫が、神武天皇であると神々の系譜に記されています。

本題に戻りますと、このように猛火の中で無事に出産したことから、古来、日本では出産を控えた女性が安産を願うと言う民間信仰の代表的なものである子安神信仰と結び

ついて、子授け・安産の神として庶民生活に密着し広く信仰されるに至ったと言われています。

木花咲耶姫命を祭神とする浅間系の神社は、全国に約1千3百社を数え、その総本社である富士山本宮・浅間神社は、駿河国一宮で、明治29年に官幣大社に列されています。

浅間神社と言えば、流鏝馬の奉納が有名ですが、これは源の頼朝が、建久4年(1193)に富士山麓において巻き狩りを行った際に、流鏝馬を奉納したのが起源といわれています。

近在では、静岡の浅間神社(富士新宮)や山梨県の浅間(あさま)神社、箱根神社が、祭神として祀っています。

時間があれば、私の地域の祭神である素盞鳴尊の話と聞いていたのですが、「神様の話」も時間の関係で終わりにさせていただき、これから少しの間、税務署の本年度的重要課題である「国税電子申告・納税システム(通称e-Taxと称していますが)」の利用・拡大についてお願いをさせていただきます。

○国税電子申告・納税システム(e-Tax)について

最近の税務行政を取り巻く環境は、我が国社会の少子・高齢化の進展や急速なグローバル化・IT化に伴う社会経済の変化という大きな流れに加え、昨年のサブプライム問題を契機として、内外の経済情勢が急激な変化を見せ、非常に厳しい状況下にあると言えます。

こうした中で、「内国税の適正・公平な賦課と徴収の実現」という国税当局に課された使命を果たし、国民の負託に応えて行くためには、これまで以上に納税環境の整備を図るとともに、適正公平な税務行政をより効果的・効率的に遂行し、国民の皆様方の理解と信頼を得ていく必要があると考えております。

この申告納税制度をより機能的に発展させ、かつ、納税者の皆様方の利便性を向上させる手段といたしまして大きな期待が寄せられていますのが、いわゆるe-Taxの普及・拡大です。

このe-Taxは、自宅にいながらインターネットを利用して国税に関するさまざまな申告、申請・届出、納税等の手続きが行えるシステムで、申告・納税の際の納税者の負担軽減を目的に導入されたものです。

本日ご出席の皆様方の中には、既にe-Taxを利用して各種申告をされている方もお見えになることかと思いますが、まだ、ご利用されていない方につきましては、ぜひ、e-Taxを利用して申告していただきますようお願いいたします。

また、税理士に申告を依頼されて見える方におきましては、是非、関与税理士に対して、申告はe-Taxでという要請をしていただければと思います。

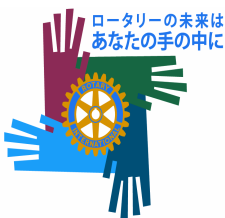
気の早い話かも知れませんが、来年の平成21年分の確定申告期に当たっては、皆様方のみならず、従業員の皆様にもe-Taxを利用して申告していただきますようお願いいたします。

○結びにあたり

予定されていた時間もまいったようでございます。

沼津西ロータリークラブの益々のご発展と、本日ご出席の皆様重びに会員の皆様のご健勝と事業のご繁栄を祈念いたしまして結びとさせていただきます。

大変拙い話にお付き合いをいただきましたことに感謝申し上げますとともに、ご静聴をいただき誠にありがとうございました。



沼津西ロータリークラブ週報



ロータリーの未来はあなたの手の中に

2009～2010年度
第19巻 23号
2009年12月10日

●クラブテーマ● ロータリーで仲良く

■■ 本日のプログラム ■■
■クラブ協議会 下期活動計画 理事会■

例会場：ブケ東海 例会日：毎週木曜日
(12:30点鐘) 第三木曜日：12:30

事務局●TEL&FAX 055-967-2152
事務担当者●川口恵美
Eメール●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第881例会 会長挨拶◆◆

井上 武雄 会長

本日は、クラブ協議会になっております。下期の活動計画について進行していきます。宜しくお願いします。

12月は家族月間です。RI会長のメッセージは「家族が参加出来る活動を企画したり、又可能な時には、いつでも、家族を歓迎することによって、私達は、ロータリー家族の一人一人が、本日より大きなロータリー家族の一員であると実感できるように手助けをします。」とっています。

クリスマス家族例会では、会員同士の親睦を深めるほか、ご夫人や家族間の相互理解出来るまたとない機会だと思えます。

当クラブのロータリー家族皆様の一人でも多くの参加の程、宜しくお願いしたいと思います。

12月のプログラム

882回 12月18日(金) 18:30 ブケ東海

クリスマス例会 曜日変更

883回 12月24日(木) 12:30 ブケ東海

沼津市長 栗原裕康様 友人同伴例会

12月31日(木) 裁量休会

1月のプログラム

884回 1月09日(土) 18:30 はなぶさ

新年例会 曜日・時間変更 移動例会

1月のプログラム

885回 1月14日(木) 12:30 ブケ東海

会長、幹事、次期会長、新年の抱負 理事会

886回 1月21日(木) 18:30 ブケ東海

クラブ協議会 上期活動報告 夜間例会

887回 1月28日(木) 12:30 ブケ東海

会員卓話 インターアクト指導者講習会について
芹澤貞治、宮島賢次

クラブ管理運営委員会報告

●ビジター

1. 羽野久雄様：沼津北 RC
2. 若林庸道様：沼津北 RC

★出席報告 (会員総数 23名)

例会	会員数	出席数	MU	出席率
881回	23名	20名	-	86.96%
879回	23名	18名	3名	89.13%

●欠席者(3名)

成田みちよ、大池省吾、杉山 了

●スマイル報告

1. 羽野久雄様：お世話になります。
2. 土佐通孝：妻の誕生日のお祝いありがとうございます。
3. 栗原侑男：入会記念。おかげさまで、16年です。今の所、出席率100%です。
4. 大村保二：入会記念。入会して、十数年たちました。
5. 宮島賢次：会長ノミニーになりました。今後共、宜しくお願い申し上げます。

会 長	井上武雄	幹 事	杉山壽章
広報委員長	植松 正	編 集 者	本村文一

6. 井上武雄：本日、下期活動計画です。宜しくお願いします。
7. 本村文一：長らく続けて欠席して、すみません。元気です。
8. 次年度理事：昨日、次年度理事による会合を行いました。
9. 鈴木良則：所用につき、早退させていただきます。

幹 事 報 告

1. 他クラブの例会変更等

①新富士ロータリークラブ

- 12月15日(火) クリスマス家族会
於：ホテルグランド富士 18：30～
- 12月29日(火) 特別休会
- 01月05日(火) 特別休会
- 01月12日(火) 新年家族夜間例会
於：ラ・テラス 18：30～

②富士ロータリークラブ

- 12月16日(水) 忘年家族会
於：ホテルグランド富士 18：00～
- 12月23日(水) 法定休日
- 12月30日(水) 特別休会

2. 報告・連絡事項

- ①クリスマス例会の会費を宜しくお願いします。
- ②次週のクリスマス家族例会は、18日(金) 18：30です。間違えないようにお越し下さい。
- ③本日理事会がありますのでよろしくお願い致します。

理 事 会 報 告

1. 報告事項

ありません

2. 協議事項

- ①平成22年1月度プログラム クラブ管理委員長：久松 但君、プログラム担当：杉山壽章君
→提案のとおり承認する。
- ②平成22年1～2月の座席表について クラブ管理運営委員長：久松 但君 SAA：栗原侑男君
→生まれ年の干支ごととする。
- ③新年会の予算について

【収入の部】

会費(宿泊者)	@14,000×21=294,000
会費(例会・懇親会のみ)	@ 8,000× 2= 16,000
食事代	@ 2,000×23= 46,000
委員会より	93,400
合 計	449,400

【支出の部】

宿泊費(宴会ドリンク代込)	@ 17,500×21=367,500
食事代	@ 12,300× 3= 36,900
玉代	45,000
合 計	449,400

④沼津朝日に正月の広告を掲載する件について
→広告を掲載する(予算1万円)。

⑤杉山了君の件

→入院見舞金として1万円を支出する。

クラブ協議会 ～下期活動計画～

幹事 杉山寿章

本日のクラブ協議会は、下期活動計画について各委員長より発表されました。クラブ管理運営委員会、クラブ広報委員会、会員増強維持委員会、奉仕プロジェクト委員会、ロータリー財団委員会、S.A.Aの順で活動計画について報告がありました。

クラブ管理運営委員会より、親睦活動の中で新年会は「はなぶさ」で宿泊例会を行なう。又今回柿田川RCホストによる合同例会、花見例会については御殿場高原ビールで検討中との事。クラブ広報委員会からは外部卓話の場合の原稿は30分卓話で800字以内で担当委員長が責任を持って依頼のうえ回収のお願い、当クラブ独自のHPの立ち上げを検討中。会員増強維持委員会から友人同伴を企画し下期に繋がる活動を皆様方と行なっていきたい。奉仕プロジェクト委員会は、4月に千本浜遊歩道の清掃作業を計画。ロータリー財団委員会は、地区補助金に該当する奉仕活動を検討。S.A.Aは、ビジター・ゲストに良い印象を与え、楽しさの中にも緊張感のある例会にしたいとの事。以上、各委員長から報告がありました。

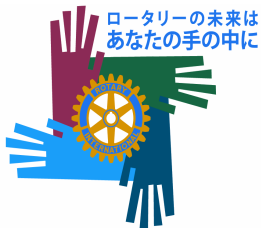
次年度も充実した活動をする為に会長・幹事とも努力していきま お願いします。



-----11月分出席一覧-----

久松(2, 2)	井上(④)+3	栗原(④)	宮島(④)+1	宮口(3)	本村(2, 1)	名古(④)+1
成田(2, 1)	大池(④)	大村(④)	尾島(④)	芹澤貞(④)+2	芹澤和(3)	重光(④)+1
杉山了(0)	杉山真(④)+1	杉山壽(④)+2	鈴木博(3, 1)	鈴木泰(④)	鈴木良(④)	土佐(2)
植松(④)+1	渡辺(④)					
			例会出席% 83.70 %		地区報告% 89.13 %	

氏名(ホームクラブ出席数、他クラブ出席数)+超過出席数。丸数字はホームクラブ出席100%を示す。



沼津西ロータリークラブ週報



ロータリーの未来はあなたの手の中に

2009～2010年度
第 19 卷 24 号
2009 年 12 月 18 日

●クラブテーマ●
ロータリーで仲良く

■■ 本日のプログラム ■■
■ クリスマス家族例会 ■

例会場：沼津東急ホテル 例会日：毎週木曜日
(18:30点鐘) 第三木曜日：18:30
事務局●TEL&FAX 055-967-2152
事務担当者●川口恵美
Eメール●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第 882 例会 会長挨拶◆◆

井上武雄 会長

本日は、クリスマス家族例会です。NPO 法人ティンクルより後藤恵美子理事長、菅沼和代様のお二人も参加していただきました。

年内最後の家族例会です。ロータリー家族として皆様で楽しいクリスマス例会にしましょう。後程、クラブ管理運営委員会の皆様、宜しくお願いします。

本年度は、クラブテーマとして「ロータリーで仲良く」とさせて頂きました。それは、一人ずつロータリアン個々に考えの相違は有ると思います。しかし、ロータリーを通じて好意と友情を深める。例会等に進んで出席をして、他人を思いやり、親交を深め理解し合い友人を増やす事が大切だと思いを方針としてお話をさせて頂きました。

本当に、上期においてその様に進めることが出来たのか、よく考え直してみようと思います。

そして、仲良く元気な明るいクラブ運営を進めて行きたいと思いますので、皆様、宜しくお願いします。

12月のプログラム	
883回 12月24日(木) 12:30	ブケ東海 沼津市長 栗原裕康様 友人同伴例会
12月31日(木)	裁量休会

1月のプログラム

884回 1月09日(土) 18:30	はなぶさ 新年例会 曜日・時間変更 移動例会
885回 1月14日(木) 12:30	ブケ東海 会長、幹事、次期会長、新年の抱負 理事会
886回 1月21日(木) 18:30	ブケ東海 クラブ協議会 上期活動報告 夜間例会
887回 1月28日(木) 12:30	ブケ東海 会員卓話 インターアクト指導者講習会について 芹澤貞治、宮島賢次

クラブ管理運営委員会報告

- ゲスト
 - 後藤恵美子様：特定非営利活動法人ティンクル 理事長
 - 菅原和代様：特定非営利活動法人ティンクル 事務局

- ビジター

17日に、ブケにて記帳された方。

 - 安保利和様：沼津北 RC
 - 山田賢一様：沼津北 RC

★出席報告 (会員総数 23 名)

例会	会員数	出席数	MU	出席率
882回	23名	18名	-	78.26%
880回	23名	19名	0名	82.61%

- 欠席者(5名)
宮口雅仁、大村保二、杉山 了、鈴木良則、土佐通孝

会 長	井上武雄	幹 事	杉山壽章
広報委員長	植松 正	編 集 者	本村文一

●他クラブへの出席者

久松 但、芹澤貞治、宮島賢次

(12/13 インターアクト指導者講習会)

●スマイル報告

1. 井上武雄：クリスマス例会宜しくお願ひします。
2. 本村文一：バッジ、忘れました。



司会は、意外(?)に名調子の重光君

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

- ①静岡南ロータリークラブ
12月29日(火) 休日例会
- ②富士宮西ロータリークラブ
01月01日(金) 法定休日



2. 報告・連絡事項

- ①次週は友人同伴例会です宜しくお願ひします。

クリスマス家族例会

今年も恒例のクリスマス家族例会が、クラブ管理運営委員会主催にて開催された。ゲストはティンクル後藤理事長、菅原事務局の2名が招待された。また、アトラクションでは、「歌とピアノとメロディオンコンサート」ということで渡辺総生さんの美声と軽快なピアノと、どこか懐かしいメロディオンに魅了された。その後に、会員の大池君、成田さん扮するサンタが子供たちにプレゼントを贈って、会員一同、和やかなひと時を過ごした。



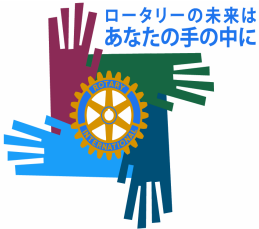
開会の言葉は名古屋君



杯の音頭は芹沢君



最後は手に手つないで



沼津西ロータリークラブ週報



ロータリーの未来はあなたの手の中に

2009～2010年度
第 19 卷 25 号
2009 年 12 月 24 日

●クラブテーマ●
ロータリーで仲良く

■■ 本日のプログラム ■■
■沼津市長 栗原裕康様 友人同伴例会

例会場：沼津東急ホテル 例会日：毎週木曜日
(18:30点鐘) 第三木曜日：18:30
事務局●TEL&FAX 055-967-2152
事務担当者●川口恵美
Eメール●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第 883 例会 会長挨拶◆◆

井上武雄 会長

本日は、大変お忙しい所をご都合をつけていただきました、沼津市長 栗原裕康様、ご出席ありがとうございます。心よりお礼申し上げます。後程、市長の卓話を楽しみにしています。宜しくお願いします。

2009年～2010年度国際ロータリージョンケニー会長は、RIのテーマとして「ロータリーの未来は、あなたの手の中に」としました。

新年度に向かったの未来とは、希望あるものでありたいと思うと同時に自分自身で切り開いていくものでしょう。

市長の卓話も将来の我が町沼津についての未来をお話していただけるようです。是非、将来への希望あるビジョンのお話を宜しくお願いします。

また、本日の例会は沼津西ロータリークラブを広く皆様に知って頂く機会として知人友人の方と一緒に参加して頂く親睦活動の例会となっております。

是非、本日の機会例会が有意義なものとなり本日のお一人お一人の参加者の皆様方に何か一つでもよいことがまた、得るものがあることを見つめることが出来ることを強く希望します。

ロータリーソングの中に、奉仕の理想があります。その歌詞をみなさまにお伝えしたいと思いま

す。

奉仕の理想に集いし友よ

御国に捧げん我らの業

望むは世界の久遠の平和

めぐる歯車いや輝きて

永久に栄えよ

我らがロータリー

以上 ありがとうございます。

12月のプログラム

12月31日(木) 裁量休会

1月のプログラム

884回 1月09日(土) 18:30 はなぶさ
新年例会 曜日・時間変更 移動例会

885回 1月14日(木) 12:30 ブケ東海
会長、幹事、次期会長、新年の抱負 理事会

886回 1月21日(木) 18:30 ブケ東海
クラブ協議会 上期活動報告 夜間例会

887回 1月28日(木) 12:30 ブケ東海
会員卓話 インターアクト指導者講習会について
芹澤貞治、宮島賢次

会 長	井上武雄	幹 事	杉山壽章
広報委員長	植松 正	編 集 者	本村文一

クラブ管理運営委員会報告

●ゲスト

1. 栗原裕康様：沼津市長
2. 飯塚多賀彦様：(有)静香堂
3. 佐々木純様：(株)損保ジャパン
4. 望月正明様：(有)望月防水工業
5. 坂東弘康様：坂東製粉(株)
6. 市川裕史様：(株)百一酸素
7. 山田和典様：山田車体工業(株)
8. 上野俊郎様：(株)損保ジャパン静岡自動車営業部
9. 井出貴之様：社会保険労務士
10. 上島正夫様：(株)ヒロコーポレーション
11. 芦沢剛彦様：(有)沼津三基
12. 遠藤啓太様：(株)フジセキ
13. 久保田吉光様：(有)オフィスクボタ

★出席報告（会員総数 23 名）

例会	会員数	出席数	MU	出席率
883回	23名	21名	-	91.30%
881回	23名	20名	0名	86.96%

●欠席者(2名)

成田みちよ、杉山 了

●スマイル報告

1. 井上武雄：誕生日のお祝いありがとうございます。
沼津市長栗原裕康様、ありがとうございます。知人友人の方、ゆっくり楽しんでいってください。
2. 宮島賢次：妻の誕生日のお祝いありがとうございます。
3. 鈴木良則：栗原沼津市長、ようこそおいでくださいました。心より歓迎いたします。
4. 杉山壽章：栗原市長、本日は卓話宜しく願います。
5. 芹澤貞治：一年間、お世話になりました。来年も、宜しく願います。
6. 久松 但：井出様、本日は、ありがとうございます。
7. 名古良輔：遠藤啓太さんを、宜しく願います。

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

①沼津北ロータリークラブ

12月29日(火) 裁量休会

01月05日(火) 裁量休会

01月26日(火) 例会時間変更(夜間例会：新年会)

2. 報告・連絡事項

- ①次週12月31日(木)は裁量休会です。
- ②1月7日(木)は、例会日・場所・時間変更で、1月9日(土)18:30～はなぶさにて、新年例会です。
- ③ガバナー事務所より年末年始休業は2009年12月29日(火)～2010年1月4日(月)までです。

卓 話



沼津市長 栗原博康様

I 今後の沼津はどうなるのか

その事を考える前提として、日本はどうなるのか

- ①自由主義経済と規制緩和は続くであろう
- ②少子高齢化も進展するだろう
- ③環境問題も大きくなるだろう
- ④人と人との絆が希薄化するだろう

上記4つの流れに対し、沼津市の課題

- ①セーフティーネットの確立
- ②行革、合併、高齢者パワーの活用
- ③エコの街・沼津の推進
- ④コミュニティー活動の活発化

II 市役所の意識改革

- ①市民目線でのサービス
(例) 季節性インフルエンザ予防接種に関する市民への通知で感じたこと
(例) 接客態度の改善
- ②市主催のイベント等に対する市役所の態度
(例) 人出よりも段取り重視
(例) 民間企業、一般感覚と違う



本日の例会の様子

このくらい会員がいるといいですね。皆さん会員増強がんばってください。